

F U J I S A N N E T W O R K

ふじさんネットワーク

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

情報誌 2000. 夏

Vol.4



富士山憲章キャンペーン 美しい富士山を未来の子どもたちに 7月1日～8月31日 静岡県・山梨県



特集

シーズン到来！富士登山 夏の富士山を守る環境活動も本格始動

今年も登山シーズンがやってきました。一年中で一番富士山に人が集まるこの時期にも、数々の環境保全活動が行われています。また、この時期だからこそ行われる活動もあります。今回の特集はそんな「夏の富士山」を守る活動にスポットをあて、その一例を紹介します。

富士山憲章キャンペーン

- 美しい富士山を未来の子どもたちに -

7月1日～8月31日

「富士山憲章」の周知、定着を図り、富士山環境保全運動の全国的展開を推進するため、静岡県と山梨県合同のキャンペーンが展開されます。その主な内容は、富士山のトイレでの水解性ティッシュペーパーの使用や、ごみの持ち帰りを呼びかける配布活動。またトイレマナーの向上を呼びかけるポスターの掲示。また8月20日には静岡県側で、13日には山梨県側で、富士山の一斉清掃も実施されます。



富士山トイレの現状とトイレ研究会の活動

平成10年、静岡県は学識者、利用者、地元関係者等による「富士山トイレ研究会」を設置しました。会では富士山にふさわしいトイレ施設、し尿処理方法等を検討し、毎年様々な実験を試みています。富士山トイレの現状とあわせて紹介します。

富士山トイレの現状

夏期の集中利用に加え、富士山特有の厳しい気象条件などから放流、浸透による処理方法が依然として存在し、山肌にし尿とともに放流されてごびりついたティッシュペーパーや悪臭など、好ましくない現象が生じています。

富士山のトイレを取り巻く条件

電気：商業電力はなく、各山小屋は、自家発電によって必要最小限の電力を確保
水：上下水道はなく、表流水もないため、雨水等を溜めて必要最小限の生活水を確保
輸送手段：一般車道はなく、車両通行は不可。物資の輸送はブルドーザーのみ。気象条件からヘリコプターの利用は困難
利用状況：夏期の2ヶ月間に約30万人が集中
便槽へのごみの投げ入れ等、利用者マナーに問題
その他：気象条件(強風、雪崩、崩落)や地形・地質条件(急斜面地形、スコリア等の脆弱な地層)等により施設の大型化は困難

トイレ研究会の実証実験

これまでの主な取組

平成10年:スギチップ式トイレ(し尿を微生物により水と二酸化炭素に分解し消滅)の実用化について実証実験

平成11年:し尿運搬の実証実験

今年の実験

企業の協力を得、現地ですし尿を分解消滅させる自己完結型の仮設トイレを設置し、実用化に向けた実証実験を実施。

場所：小山町須走口五合目駐車場付近

実証実験期間：7月中旬～8月中旬

設置台数：3基

処理方法：オガクズ、スギチップ、パルジェット水によるし尿分解

利用者には管理維持費として一回の使用にあたり100～200円程度の協力金のお願いを呼びかける。

須走口にチップ(協力金)制トイレ誕生

～秋
小山町

シーズンを前に、須走口五合目に登山者観光客用の新しいトイレが設置されました。男性用、女性用に加え、車椅子でも利用できる「親子トイレ」も設置。洗浄水は雨水とし尿を濾過しながら再利用する「循環方式」で、照明などの電気は自家発電となっています。利用期間は秋まで、チップ(協力金)制が導入されます。

富士宮チップ制トイレ



新設の須走口チップ(協力金)制トイレ内部

表富士宮口でチップ制トイレをPR

7月1日～10月9日
富士宮市

昨年の経験を元に今年は、チップ制導入の趣旨や、チップ制トイレの存在をアピールする表示板が、富士宮口五合目公衆トイレに登場します。入り口にはチップ制を明記したものが、中には昨年の「協力金」実績を明記したものが設置されるということです。ちなみに昨年の実績は67万5292円。一人当たり、10円25銭。一人100円の目安とは大きく異なる結果でした。



▲富士宮トイレチップ箱



富士山ボランティア清掃

7月1日～9月30日

富士山周辺の高校・地元企業など

富士宮、富士、裾野、御殿場、小山、神奈川などの高校、また地元企業、団体などが毎夏ボランティアで富士山の清掃活動を行っています。昨年の参加数は約540人で、ごみ集積量は836kg。ここ数年はペットボトルやタバコの吸い殻などが増えているとのこと。



富士山一斉清掃



富士山一斉清掃

8月20日

富士山をいつまでも美しくする会

毎年恒例となっているもので、今年の実施は8月20日。御殿場口、富士宮口、須走口などで実施されます。今年にはボランティア参加してくれる団体等を募り、約3000人の参加を予定しているとのこと。また、夏山シーズン中は、清掃員を雇用して行う清掃活動も実施されます。

環境庁初の「ふれあい自然塾」田貫湖にオープン

7月8日、環境庁が進めている「ふれあい自然塾」の第1号が、田貫湖畔にオープンします。これは自然の中で滞在しながら自然を体験、学習しようという施設で、自然体験ハウス、野外作業場、コテージなどの設備の他、自然体験のフィールドとなる冒険の森などが整備されています。

また個人でも団体でも参加できる、自然体験のプログラムとして、洞窟原生林探検、ネイチャーゲーム、東海道自然歩道ハイク、クライミングウォール、ロープワーク教室、糸つむぎ教室などが用意されています。

ネットワーク会員連携事業「富士山子どもサミット」(仮称)8月開講

この夏、「ふじさんネットワーク」の会員連携事業「富士山子どもサミット(仮称)」が実施されます。これは、子どもたちに自然や富士山を学んでもらうことを目的とした環境教育で、8月20日～22日の2泊3日、「静岡県立富士山麓山の村」を会場に開講するものです。天体観測や、富士山一斉清掃などの体験学習の他、富士山の自然環境、動植物、地形、地質、地下水等を学ぶ講義、自然保護団体の活動見学などを盛り込んだプログラムを計画中です。会員のみならずのご協力をよろしくお願いたします。

21世紀の人と環境

静岡県立富士高等学校
富士市松本17 TEL/0545-61-0100 FAX/0545-64-7349
http://www.shizuoka-c.ed.jp/fuji-h/index.htm



富士高校は、大正12年4月に県立富士中学校として開校し、昭和23年県立富士高等学校に移行して以来今日まで、全日制24,288名・定時制2,271名の地域国家の発展を担う卒業生を送り出してきました。

現在、全日制普通科24学級・理数科3学級、定時制6学級の生徒が、「克己心身を練れ、勤勉実力を養え、至誠事に当たれ」の校訓のもと、日々学習活動に励んでいます。

富士山の自然環境に関する活動としては、郷土研究部や地理部などの部活動の一環として朝霧高原や富士山の

湧水・熔岩洞窟等の研究が行われています。又、理数科独自の教育活動として富士山麓山の村を利用した野外実習が行われています。

1989年の理数科1年生（第4期生）から始められた野外実習は、対象として富士山を取り上げ、生徒が自然に親しみ自然を見る目を養うことを目的としたものです。第1回野外実習は、富士山自然観察の会の中山芳明先生を講師に、富士山の5合目から宝永山火口周辺の植物の垂直分布や、西臼塚周辺の植物の観察を行いました。

第5回以降は、それまでの生物分野の調査だけでなく地学分野も実習に取り入れ、富士山麓山の村での天体観測や、富士山の自然を守る会の中島信鼓先生の指導による富士山の地下水の観察も行ってきました。

来年度からは、新たに普通科の生徒も『総合的な学習の時間』のフィールドワークとして、富士地域や富士山周辺の自然環境・社会環境・文化環境を研究して行く予定です。

今後は、ふじさんネットワークの一員としてともに学び、自然と人の共生社会の実現を目指して行きたいと思っています。

富士山の自然を調査、研究する機関

富士山自然誌研究会
駿東郡長泉町東野692-323
TEL・FAX/0559-87-7673



富士山自然誌研究会は、平成8年に創設されました。富士山の自然を現時点で科学的に調査・研究する機関として創設されました。現在会員数は90名ほどで、専門委員と一般会員からなっています。

専門部会では、富士山の自然に関する調査・研究を主体に行っています。植生、植物、昆虫、は虫類、両生類、鳥類、地質などの各分野の研究を行い、富士山の自然を総合的に解明することを目的としています。それは同時に過去から、現時点、そして未来への富士山の自然が、

いかにあるべきかの基礎的研究であり、基礎的資料となるものであります。

一般会員は、講義による自然誌セミナーや野外観察会、研究会などを定期的に行っています。

また、会では会報を発行しており、会員による調査、研究の成果をその紙面で紹介しています。たとえば、1号では「富士山麓におけるヒメシジミ、アサマシジミ、ミヤマシジミの分布と棲息地」富士山植物誌作成を目指して。2号では「富士山麓における草原性蝶類3種の分布域の変化」富士市、水神に見られる富士山溶岩のスパイラルクル「須走口登山道沿いの植物」。いずれも貴重な研究資料です。

倒木で作った鉢植えを土に還して森づくり

土に還る木・森づくりの会 (旧名称:御殿場森林研究会)
御殿場市新橋160-1
TEL/0550-84-5500 FAX/0550-84-5400

親の木(倒木など)が子供の木を育てる“資源循環型”と希望する人ならどなたでも参加できる“市民参加型”の楽しい森づくりを実施しています



- 【活動の内容】
1. 植木鉢制作体験教室...清宏園内「土に還る木制作工房」子供から大人まで、どなたでも作ることができます。材料には、富士山国有林の風倒木や間伐材と開発のために伐採された木などを使います。工房開設以来、3年間に約3000名の参加をいただきました。
 2. どんぐり苗木の里親体験教室
富士山御胎内清宏園でどんぐりを拾い、制作した鉢やポットに植付け、苗木を育て、森づくり活動に使用します。1998年から毎年秋に、子供たちの環境教育の場として開催
 3. 森づくり活動...現在、御殿場市内2か所で実施中
(1) どんぐりの森...土に還る木・どんぐりクラブの協働の森です。学校週5日制で休日の毎月第2・第4土曜午前中が作業日
(2) じゃおの森...倒木跡の樹種転換事業として、月に1~2回 神奈川のじゃおクラブと協働して広葉樹の森を作っています
 4. 情報発信活動...森づくりフォーラムの開催と各地へ出展活動
 5. その他の活動...風倒木の伐採・整理・運搬活動など
平成12年4月に特定非営利活動法人の設立認証を申請しました。ご希望の方には、詳しい活動案内を差し上げます。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

フジアザミの保護・育成活動

東京電力(株)沼津支店御殿場営業所
御殿場市新橋1600-1 TEL/0550-82-1150 FAX/0550-90-2229
http://www.tepco.co.jp



沼津支店御殿場営業所は、1990年から10年以上にわたり、富士山麓においてフジアザミの保護・育成活動を続けています。フジアザミはキク科、多年草の高山植物であり、夏から秋にかけて赤紫色の美しい花を咲かせ、また、根の長さが1m以上にまで伸びて、土砂崩れを防ぐ「自然の杭」としての役割も果たします。

保護・育成活動は、10年前、社員が地元の植物研究家の方より、フジアザミが絶滅の危機に瀕していることなどを伺って開始しました。その方法は、営業所構内で

種をまき、苗を1年半の間育成した後で富士山へ植栽するというものです。このサイクルを毎年繰り返し、1991年から1999年までの間に、地元の方々を中心に延べ1750人にもご参加いただいて、約27,500株の苗を植栽してきました。こうした地道な活動が高く評価され、1999年、同営業所は第50回全国植樹祭において「静岡県緑化功労者」として表彰されました。

「ふじさんネットワーク」ホームページに掲載されている(6月20日現在)情報をピックアップしました。

レーニア山からのボランティア受入先ないですか

投稿者:松井 宏行さん 男性 4/4

はじめまして。J-VIP A(日本環境ボランティア)の松井です。私達J-VIP Aはアメリカのレーニア山で毎年夏に国立公園の施設の整備等のボランティアをしている団体です。そのレーニア山の職員や私達のホストファミリーから2003年の年末から翌年の年始にかけて約2週間日本に来てボランティアしたいという話があり、私達も是非その計画を実現させようと動き始めたところです。というわけで富士山でそのような活動を受け入れてくれる方または団体いませんか? またレーニア山からは約30人(女性、子供もきます)来る予定です。彼らはホームステイを希望しているのでホストファミリーになってくれる方も募集中です。返事は渡辺美香(この企画の担当者です)までメールでお願いします。

メールアドレスは「ふじさんネットワーク」事務局までお問い合わせください。

掲 示 板

イメージチェンジしたのですね!

投稿者:みさちゃん@ふじさん 女性 5/9

このホームページをはじめて拝見してから5日後にもう一度見に来たら、とってもかわいい富士山が現れてビックリしました!!こんなホームページ見たことなく、なかなかステキですね。メニューもたくさん増えて、なんか充実した感じがします。これからもチェックしていきますので、愛する富士山の情報をたくさん楽しく紹介してくださいネ。

富士山自然の森作りの会

投稿者:野中 友晴さん 男性 5/22

本日、5月の活動の「落葉広葉樹の植林」を行いました。平成8年の台風被害地を自然林に戻るお手伝いです。実際はこれからの夏場の下草刈りなどがたいへんです。みんなボランティアで手弁当で集まっている気のいい仲間です。是非、ご参加ください。毎月「第4日曜日」が基本活動ですが、詳細は確認の連絡をください。まだ、会のHPがないので、下記に確認頂ければわかれると思います。

「国土緑化推進機構HP」

www.ijnet.or.jp/green/

ボランティア談話室 中部 活動一覧表

よろしくをお願いします。

わくわく*ワクワク*楽しみ~!

投稿者:桃尻娘さん 女性 6/18

7月15日に、富士山に登ります。(笑)初めての、登山です。で、今日はりきって、ジャスコに行き、トレッキングシューズ(¥5000)を購入しました。へこたれないようにと、ウォーキング*水泳*ボクササイズ*筋トレをしています。あの~、質問ですが、山頂では、携帯電話(iモード)は、使用できますか? 山頂に着いたら、友人にメールをするので!よろしく、お願いします。

Re:わくわく*ワクワク*楽しみ~!

投稿者:ふみさんさん 女性 6/19

私が聞くに登山期間だけは頂上でもドコモなら携帯がつながるって事でしたのでiモードも大丈夫なんじゃないかなあ...って感じです。

初めて登ります宣言!

投稿者:あっこちゃんさん 女性 6/19

7月の終わりか、8月初旬に友人3人と初めて富士山に登ります。私たちは大学4年で、それぞれ就職先も決まり、卒業の思い出に富士山に登ることになりました。初心者ゆえ心配事も多々ありますが、楽しみでたまりません!

この度、「ふじさんネットワーク」の「メーリングリスト」を作成することにいたしました。会の代表の方、またそれぞれの会のメンバーの方でメールアドレスをお持ちの方、メールアドレスを事務局まで(3776@fujisan-net.gr.jp)お知らせください。

イベント情報

平成12年度富士山3776自然林復元下刈作戦1~5

日時:7月16日(日)・20日(祝)・23日(日)・30日(日)・8月6日(日) 10:00~
場所:富士宮市栗倉 富士宮市有林 他
問い合わせ:静岡県環境部富士山保全室
TEL/054-221-3618

広葉樹植栽後の下刈り1・2・3

日時:7月23日(日)・8月27日(日)・9月24日(日) 9:00~
場所:富士山国有林
問い合わせ:富士山自然の森づくり 仁藤
TEL・FAX/0544-24-9348

富士山御神火まつり

日時:8月5日(土)
場所:浅間大社、富士宮市街地
団体名:富士宮市観光協会
問い合わせ:富士宮市商工観光課
TEL/0544-22-1155

観 察 会

日時:8月13日(日) 8:15
場所:三島駅南口集合
問い合わせ:三島・自然に親しむ会 望月
FAX/0559-73-6628

白糸文珠さんまつり

日時:8月19日(土)
場所:白糸文珠さん
問い合わせ:富士宮市観光協会
TEL/0544-27-5240

GGT富士山自然林再生活動

日時:8月28日(月)~8月29日(火) 11:30~20:30
場所:富士山麓山の村(宿泊)
問い合わせ:富士山自然の森づくり 仁藤
TEL・FAX/0544-24-9348

「富士山」に関する新聞記事を、ここ数ヵ月間の中からピックアップしました。



5.28毎日新聞 朝刊

「子供たちに環境教育を」
ふじさんネット
沼津で通常総会
富士山の自然環境を守るため昨年10月に設立した「ふじさんネットワーク」(会長、土塚一・静岡大名警教授)の通常総会が7日、沼津市大手町の県東部交流プラザで開かれた。新しい取り組みとして、会員らが

「田貫湖ふれあい自然塾」運営協議会設立・7月全国初オープン
4.29 静岡新聞朝刊

富士山に自然林復元を・ボランティア大作戦
770人が参加し苗植える
5.1 中日新聞朝刊

県がメールを発信「今」の富士山お届け
ふじのくに情報宅急便登録者を募集
5.4 静岡新聞朝刊

富士山のふもとを一周しよう・静岡県4市1町10月に開催
ふるって参加を
5.5 中日新聞朝刊

「折り紙ふじさん」考案・東京の佐藤さん白雪抱く姿イメージ
5.8 静岡新聞夕刊

連携して子供たちへの環境教育を進めることを決めた。
ネットワークは県内の自治体や自然保護グループ、企業など151団体・個人が加入。インターネットで富士山の情報を発信したり、情報誌を発行している。今年度からはさらに、会員が小中学校などで富士山に関する講演をしたり、富士山での自然観察や下草刈りに子供たちを招くことを検討しているという。
ネットワークは会員を募集している。問い合わせは県富士山保全室(054・221・3618)へ。

▼5.30静岡新聞 朝刊

富士山地下水保全への植樹・裾野で250人が参加
5.15 中日新聞朝刊

緑の募金活用・ボランティアら310人
富士山に植樹
5.22 静岡新聞朝刊

富士山麓警察署会議・道迷い多発で、登山口別にカラー看板
5.26 静岡新聞朝刊

ネットワークが総会・富士山の情報発信や活動事業など決める
5.28 中日新聞朝刊

恒例の富士山一斉清掃、今年は8月20日に富士山をいつまでも美しくする会
6.1 静岡新聞朝刊

富士山の表情毎朝更新・御殿場市のホームページ画像公開
6.1 静岡新聞朝刊

富士山南西麓の湧水量は10年前レベル
富士で岳南地下水協
6.9 静岡新聞朝刊

富士山だより・山頂で厳冬の気温が上昇
永久凍土大幅縮小
6.11 毎日新聞朝刊

富士山への思いあなたも表現を
手紙・絵コンクール来月から作品募集
6.15 中日新聞朝刊

毎日新聞「富士山再生キャンペーン」メイン事業
ショー&富士山清掃登山
6.16 毎日新聞朝刊

夏山富士 汚さないで

山梨と合同キャンペーン

トイレ、ごみマナー訴え

富士宮で会議

静岡・山梨両県が今年の富士山夏山期間中に、合同で環境保全キャンペーンを展開することとが二十九日、富士宮市役所で開かれた富士山環境推進会議で正式に決まった。富士山のトイレ・ごみ・利用者負担対策のため、水解性ティッシュ使用を呼び掛ける配布活動や、トイレマナー啓発を呼び掛けるポスター掲示などを両県挙げて展開する。

合同開催は、富士山の自然と景観を守り、その恵みを受け継ぐため、平成十年十一月、両県が憲章を制定以来、三回目。菊地忍環境部長や渡辺紀富士宮市長、長田央小山町長、環境庁、建設省、山梨県自治体関係者らが出席した。七月一日から八月三十一日のキャンペーンでは、昨夏の山頂トイレし尿遠投実験の普及向上にも努める。憲章の趣旨やキャンペーン事業内容周知では、関係機関のほか旅行会社、各登山道の売店にも協力を依頼し、全国的な富士山環境保全の輪を広げる方針。

また、毎年行っている一斉清掃開始前に参加者全員で憲章を唱和し、登山者に「ごみの持ち帰り徹底を呼び掛ける。昨年から導入した両県にあるチップ制トイレの普及向上にも努める。」

富士山の自然と景観を守り、その恵みを受け継ぐため、平成十年十一月、両県が憲章を制定以来、三回目。菊地忍環境部長や渡辺紀富士宮市長、長田央小山町長、環境庁、建設省、山梨県自治体関係者らが出席した。七月一日から八月三十一日のキャンペーンでは、昨夏の山頂トイレし尿遠投実験の普及向上にも努める。憲章の趣旨やキャンペーン事業内容周知では、関係機関のほか旅行会社、各登山道の売店にも協力を依頼し、全国的な富士山環境保全の輪を広げる方針。

事務局通信

「ふじさんネットワーク」平成12年度 (第2回)通常総会が行われました

5月27日(土)沼津市の静岡県東部交流プラザ「パレット」において、平成12年度第2回通常総会が行われました。11年度の事業報告、12年度の事業計画、収支予算、役員の選任等が協議され、承諾されました。あわせて、静岡大学名誉教授、土隆一氏による講演「富士山の水の七不思議」、会員の交流会なども実施されました。12年度の事業計画は次の通りです。

- 1 会員相互の交流・連携の強化及び情報発信
 - (1) 会員への情報発信
 - (2) 会員連携事業の実施
- 2 会員募集
- 3 社会貢献型提携カード等寄付金の受入
- 4 会議の開催



ホームページをリニューアルしました

「ふじさんネットワーク」のホームページが大幅にリニューアルされました。「富士山に登る人たちに」「富士山を楽しもう」「富士山の文化」「富士山の動植物」「富士山の自然環境」「ふるさとの富士山」「富士山ギャラリー」「情報誌」「ニュースクリップ」といった新しいコンテンツが加わり、早くも反響を呼んでいます。目指すは日本一の「富士山」ホームページです。会員のみなさんのホームページへの参加、ご協力をお願いいたします。またご意見等もあわせてお寄せください。

みなさんの活動をPRしてください

情報誌の「MEMBERS」は、会員のみなさんの活動を紹介するページです。みなさんの会、団体の活動を紙面で紹介してください。もっともっと多くの方々にみなさんの活動を知っていただくために活用してください。原稿をお待ちしています。

会員募集

「ふじさんネットワーク」は随時会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

「ふじさんネットワーク」事務局

〒420-8601
静岡市追手町9番6号
静岡県環境部富士山保全室内
TEL/054-221-3618
FAX/054-255-6495
URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/
E-mail/3776@fujisan-net.gr.jp

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡県
山梨県

『富士山カントリーコード』

10の約束、美しい富士山をあなたと共にいつまでも
策定:富士山地域環境保全対策協議会

- 1 「美しい富士山を後世に引き継ぐ」
- 2 「ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る」
- 3 「ゴミになるようなものを最初から持っていけない」
- 4 「登山道はずれて歩かない」
- 5 「登頂記念の落書きをしない」
- 6 「車道外へ車両等乗り入れない」
- 7 「溶岩樹型等の特殊地形を壊さない」
- 8 「駐車場ではアイドリングをしない」
- 9 「動植物を採らない」
- 10 「トイレなど公共施設をきれいに使う」